



燃え尽きて、燃え尽きて、真白くなりたい

——なるほど、では僕が一番聞きたい事、なぜ最高速を狙つたのか、聞かせて下さい。

牧原 うん。まず、今やから、やつてみようと思った。これを'87年に出しても意味のないもんや思う、時代が変わつたやろうからね。逆にあと何年かすればああ、'85年は307出た年やつたなあゆうことになる思うわ。その時には皆レベルアップしとるやろうしな、技術の差ゆうんは見えんもんや。それと、目標があつた。チーンドカーのトップになるゆうな、男だつたらやっぱりトップでありたい。これは逆にウチとこの車がいつ抜かれるかわからんゆうことや。

——同じZということでヤマモトさんの車はやっぱり意識されたんですか。

牧原 ヤマモトさんところはストリート仕様を強調してはるやろ、ウチとこと同じやしな、ウチもあくまでストリート仕様で、ゆう気持ちがあつたから、そりや意識するわ、彼んとこは298km/hも出してたしな。でもいってみればヤマモトZはツインターボL型の1号車やろ、うちんとこは2号車、1号より2号のほうが速うないと意味ないんや、男ならやつてみよ思うわ。

牧原 記録は破られるためにあるんやろうから、受身の今はあんまり面白うない。トップであるゆうことはいつもトップでなくなるかもしれんゆうことや。

てみればテストケースになるわけや、でもデビュー作やから全力を注いで作った。どこが違うかいわれたら、予想できるトラブルは全て読んですぐに対処できるよう、いやその前にトラブルらんように一つ一つのバツをシビアに見ていったな。

——トラブルに関してはまあ、どこのショップさんもそうみたいですね。

牧原 ウチとこはそれ以上にシビアに見たんや、何でかわかる? 谷田部で何かあつたらウチはそれでしまいや、ちょっと持つて帰つてすぐ直すゆうわけにはいかんやろ、大阪と東京ゆう距離がそうさせたんや。そやからコースに入つて1周目、第1バンクに車が消えたら第2バンクから出てくるまではハラハラしつ放しや、まるでデキの悪い子を見とんのと一緒や。